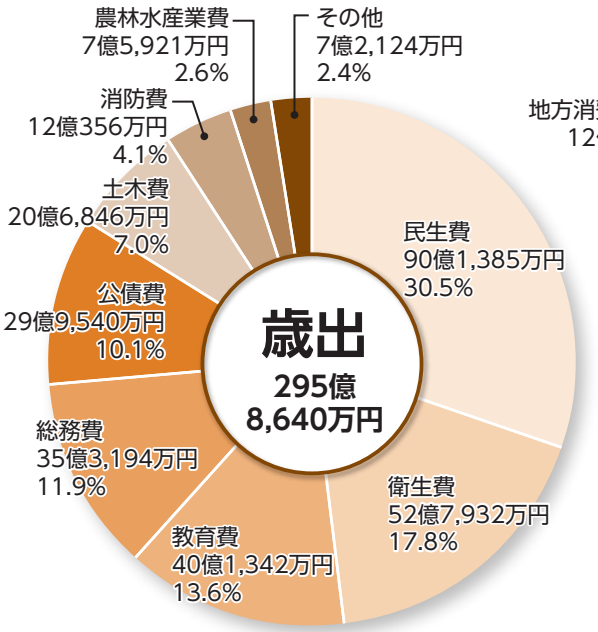
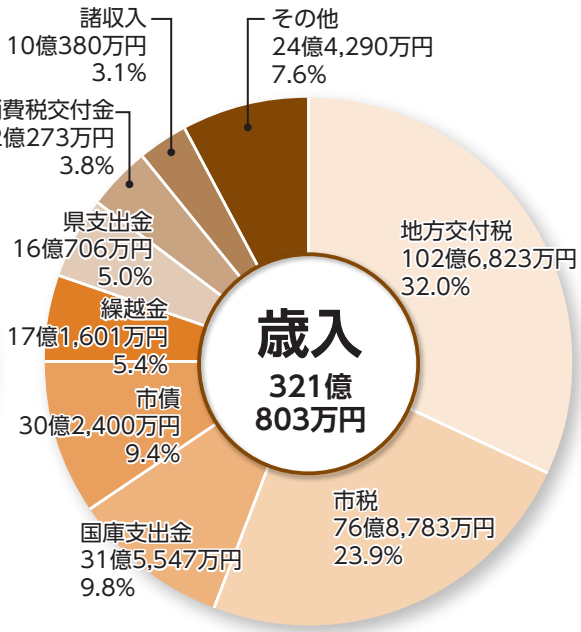
こうなっています

旭市の財政状況

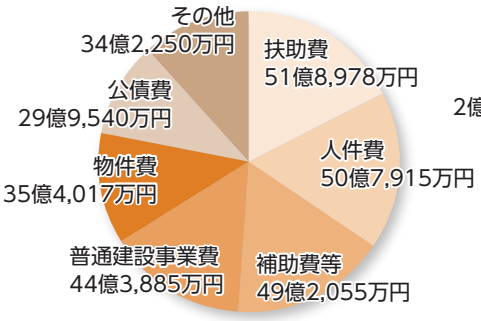
皆さんが納めた税金や、国・県からのお金はどのように使われているのか、市税の負担や市の財産、市が借りているお金はどのくらいなのかなど、市の財政事情を皆さんに知ってもらうため、決算と予算執行状況を公表します。

令和元年度一般会計決算

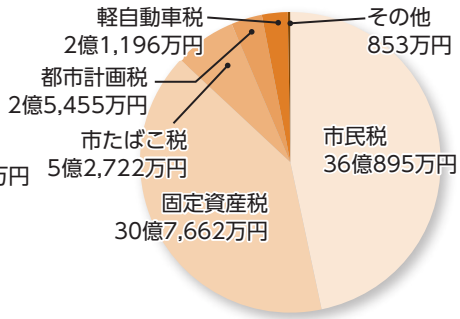




性質別歳出の内訳



市税の内訳



用語の解説

- **民生費**…児童、高齢者、障害者などの社会福祉にかかる経費
- **衛生費**…旭中央病院への負担金、健康増進、疾病予防、環境保全などにかかる経費
- **教育費**…学校教育、社会教育などの教育行政にかかる経費
- **総務費**…庁舎の管理や税金徴収、住民票などの発行にかかる経費
- **公債費**…事業を行うために国や銀行などから借り入れたお金の返済にかかる経費
- **土木費**…道路や公園などの整備や維持管理にかかる経費
- **消防費**…消防、防災などにかかる経費
- **農林水産業費**…農林水産業の振興にかかる経費
- **その他**…議会の運営、商工・観光や就労支援などにかかる経費

一般会計決算

令和元年度一般会計の決算は、歳入321億803万円、歳出295億8、640万円で、歳入歳出差引額25億2、163万円から翌年度に繰り越すべき財源6億7、682万円を控除した実質収支額は、18億4、481万円となりました。

歳入の構成比は、地方交付税が32・0％（102億6、823万円）で最も高く、市税が23・9％（76億8、783万円）で続いています。

歳出の構成比で最も高いのが民生費の30・5％（90億1、385万円）で、衛生費17・8％（52億7、932万円）、教育費13・6％（40億1、342万円）と続きます。

問い合わせ先
財政課財政班
☎62-5316

市の決算を家計に置き換えてみると

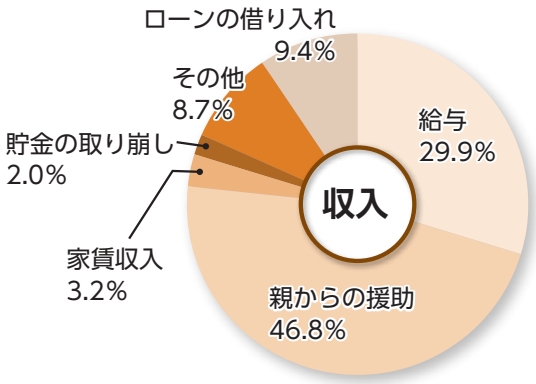
市の一般会計決算額を年収552万円※の家計に置き換えてみました。
※令和元年国民生活基礎調査の１世帯当たりの平均所得金額を参考に算出。

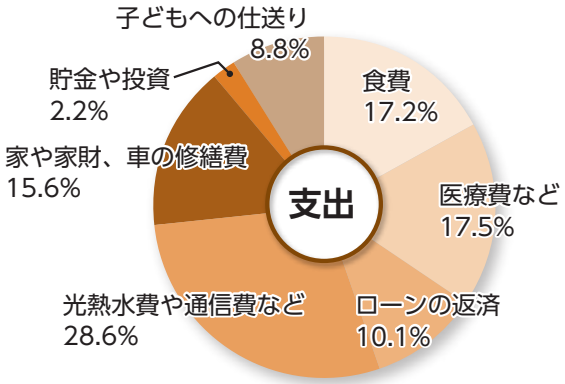
収　入

給与（市税、地方譲与税、その他交付金）	165万円
親からの援助（地方交付税、国県支出金）	258万円
家賃収入（分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入など）	18万円
貯金の取り崩し（繰入金）	11万円
その他（寄付金、繰越金、諸収入）	48万円
ローンの借り入れ（市債）	52万円
合　計	552万円

支　出

食費（人件費）※1	88万円
医療費など（扶助費）※2	89万円
ローンの返済（公債費）※3	51万円
光熱水費や通信費など（物件費、補助費等）※4、※5	146万円
家や家財、車の修繕費（維持補修費、普通建設事業費など）※6	79万円
貯金や投資（積立金、投資・出資金、貸付金）	11万円
子どもへの仕送り（繰出金）※7	45万円
合　計	509万円





※1 人件費…市職員の給与や手当などを支払うための経費
※2 扶助費…医療に関する経費や、生活保護・児童手当の給付、私立保育園の運営補助などにかかる経費
※3 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済にかかる経費
※4 物件費…電気料金や消耗品の購入費、委託料など
※5 補助費等…各種団体に対する補助にかかる経費
※6 維持補修費、普通建設事業費…道路や公園、学校など公共施設の建設や改修などにかかる経費
※7 繰出金…特別会計の歳入を補うための経費